



学校だより No. 2

白 樺

平成 31 年 4 月 11 日 (木)

泉崎村立泉崎中学校

発行責任者 校長 桑原 透

平成 31 年度入学式

4 月 8 日に泉崎村長様を始め多くの来賓の方々に祝福され、61 名の生徒が入学しました。



新入生は一人ひとり担任の先生の呼名にあわせ、元気な返事をしていました。大変緊張したことでしょう。式の中では生徒会長の箭内瑞樹くんの歓迎の言葉があり、また新入生代表の緑川優真さんが誓いの言葉を述べました。二人とも堂々とした発表で素晴らしかったです。



新入生誓いの言葉

新入生代表 緑川さん

やわらかな春の光に誘われて、桜のつぼみも膨らみ始め今日、私たち六十一名は歴史と伝統ある泉崎中学校に入学いたしました。本日はこのような立派な入学式を行っていただきありがとうございます。今、私たちは新しい生活への不安はありますが、それ以上に入学の喜びと期待で胸がいっぱいです。一日も早く学校生活に慣れ、勉強や部活動がんばり、新しいことに挑戦したいと思います。そして、自分の目標をしっかりともち、夢や希望を叶えるために、何事にも全力で取り組みます。校長先生をはじめ、諸先生方にはあたたかいご指導をよろしくお願いいたします。私たち六十一名は、泉崎中学校の生徒として、自覚と責任をもち、行動することをここに誓います。

歓迎のことば

生徒会長 箭内くん

心地よい春の日差しに誘われ、ここ泉崎にも待ちに待った桜のたよりがやってきました。六十一名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同皆さんのご入学を心より歓迎します。

皆さんは本日より中学生として新たな一歩を踏み出します。今は期待と不安でいっぱいかもしれませんが、私たちは最初はそうでした。しかし、その不安は次第に消えていきました。それは、親身になって指導して下さる先生方、優しくアドバイスして下さる上級生の皆さん。そして家族や地域の方々がいて下さったからです。悩みごとがあっても、皆さんの力になってくれる人がたくさんいるはずですよ。私たちも上級生として皆さんをしっかり支えて行きたいと思っています。小学校と違い中学校生活は三年間です。その三年間が自分を進化、成長させていく有意義な時間になるようにしていきましょう。

教科ごとに担当の先生がかかる授業、学期ごとに行われる定期テストなど、小学校と中学校は違うことが多く、とまどうこともあるでしょう。でも、授業に集中して取り組めば大丈夫です。わからないことは先生方が優しく教えて下さいます。部活動は楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。どの部活動も目標を持って真剣に練習に取り組んでいます。不安もあるかもしれませんが、自分が三年間打ち込める部活動を選び、ぜひ挑戦してみてください。

私たち泉崎中学校の生徒は、元気な挨拶ができる学校を目指し、生活しています。皆さんぜひ進んで挨拶をしてみてください。そうすることで自然に緊張もほぐれていくと思います。皆さんは一人ひとりが良い思い出を積み重ねていけるよう共に頑張ってください。私たち全校生が力をあわせ、心一つにして新たな泉崎中学校の伝統を創っていきましょう。

白樺第1号でもお知らせしましたが、入学式の前に新2・3年生により

第1学期始業式が行われました。

その中で各学年の代表者による新学期の抱負が述べられましたので、紹介いたします。

「三年生の抱負」

3年1組 西槇さん

私は中学生の中で最上級生である三年生になりました。「受験生」という最も強いプレッシャーの中で、夢に向かうために進路を考え、そのために努力をしながら残り一年間を過ごさなければなりません。

私たち三年生に大きく立ちはだかる壁である「受験」とは、自分との闘いだと思います。そこで私は目標を立てました。それは、「やると決めたらやる」ということです。今までは途中であきらめてしまったり、やっているふりをしていることがありました。ドラえもんの道具である「暗記パン」や「タイムマシン」。こんな道具があればいいなど現実逃避をしたこともありました。きっと皆さんも一度は「ドラえもんがいたらいいな」と、考えてしまったことがあるのではないのでしょうか。残念ながらここは三次元、現実の世界です。夢を見ることも大切ですが、ここはしっかりと自分の状況を受け入れて、前に進まなくてはなりません。

弱音を吐くの「吐く」という字、夢を叶えるの「叶える」という字、皆さん、頭に思い浮かべてみてください。「だれでも口から“マイナス”なことも“プラス”なことも“吐く”」だから「吐く」という字は、「口」と「+」と「-」でできています。マイナスなことを言わなくなると、「-」が消えて「叶える」という字になります。しかし、何でも“プラス”の要素があればいいと私は思いません。

自分の口から出た“マイナス”なこと、“プラス”なことと向き合ってこそ、本当の意味での「叶える」というところにたどり着けるのではないかと私は思います。

今年度より、入試制度ががらっと変わり、今まで通りの勉強では通用しないかもしれません。最上級生として自覚を持ち、勉強も気を抜かず、「危機感」を持って、精一杯これからの一年間を過ごしていきたいと思います。

「新年度の抱負」

2年1組 野崎くん

僕は昨年度の反省を踏まえ、二年生で達成させたい目標を三つたてました。

一つ目は学習面です。授業に集中し、テストの順位を上げて、五位以内に入るようにしたいです。二年生になると学習内容も難しくなり、学習時間も増やさなければなりません。課題に出される前に学習したところの復習を少しずつ行っていく、終わらせるようにし、何回もやり直したいです。そのように復習をしっかり行って、五教科の合計で五位以内に入りたいです。

二つ目には生活面です。一年生の終わりの集会で「二年生を見て生活しなさい。」と一年生に言えるよう生活していこうと言われました。一年生の時は、休み時間に楽しければいいというさく過ごしていたことがありました。他にもうさくしている人がいたので、それでは学年としても「二年生を見て生活しなさい。」と言えないと思います。休み時間の過ごし方だけでなく、授業や他の生活のしかた、あいさつでも一人ひとりが二年生としての自覚をもってしっかりとした上級生になれるように頑張りたいです。

三つ目は、部活動です。特に頑張りたいことはリフティングです。一年生の時は最高でも80回しかできませんでした。部活中や家で集中してリフティングの練習をして、少なくとも100回までは記録を更新したいです。リフティングの技術を向上させることで、ボールタッチを向上させることができ、試合でもしっかりとしたプレーができるようになるので、リフティングを頑張りたいです。

二年生に進級して、一人ひとりが今、自分の目標を持っているはずですが、学年全体としても一人ひとりがその目標に向かい、二年生としてしっかりと生活していきたいです。そして一年生のお手本になれるように頑張りたいです。